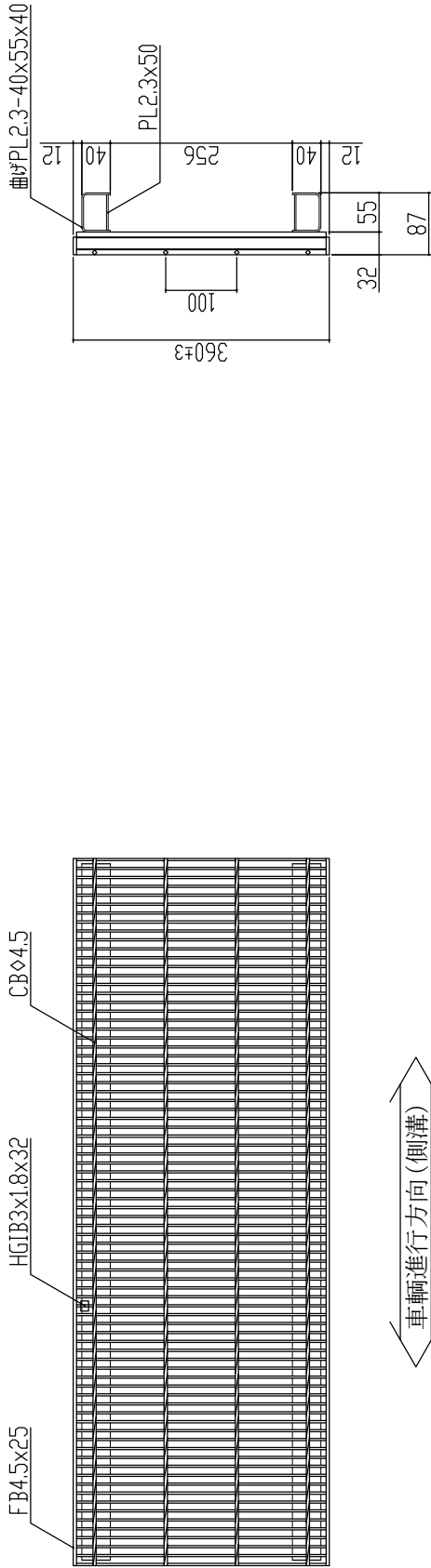
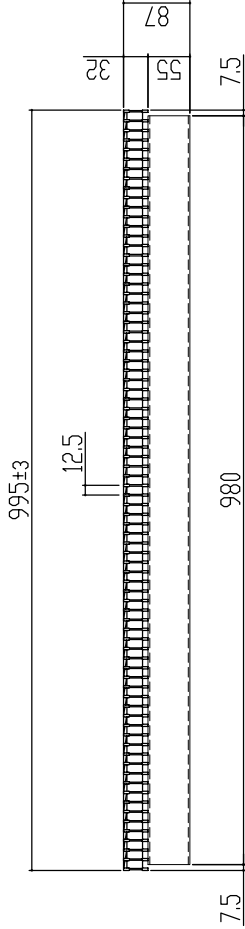
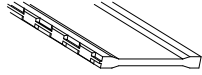




車輛進行方向(側溝)



本体重量 25.8kg



主部材詳細図 表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

	訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	訂正者承認印	承認印	検印	製図	かさ上げJIS道路側溝用(ハイテン)グレーチング 溝幅250用 細目ノズリップ	株式会社 MK駐輪事業部
	標準製作図面								T-25	図番
	試作図面								LNHJK90-323-2.5	
	特注図面									MKG-L-233-2
	検討図面									

株式会社 マキテック MK駐輪事業部

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品 名	LNHJK90-323-2.5
	製品寸法	360x995x32+55
	主部材	I - 3 × 1.8 × 32
	断面係数	Z = 0.489 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-25	支点間距離	L = 256
	後輪一輪荷重	P = 100000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 12.5 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。			
	$\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積}$ より			
	$\omega = 100000 \times (1 + 0) \times 12.5 / 100000$			
	$\omega = 12.50$ (N/mm)			
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。			
	$M = \omega \times L \times L / 8$ より			
	M = 102400			
	M = 102,400 (N・mm)			
	3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm ²) を求める。			
	$\sigma_b = M / Z$ より			
4 総 括	$\sigma_b = 102,400.0 / 489.000$			
	$\sigma_b = 209.41$ (N/mm ²)			
	従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm ²) に対し、			
	<u>209.41 (N/mm²) $\leq$ 320 (N/mm²)</u>			

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--